



ユニプレス株式会社

2017年度第2四半期決算報告

2017年11月17日 代表取締役 社長執行役員 吉澤 正信



UNIPRES CORPORATION



2017年度第2四半期決算について

2017年度見通しについて

将来に向けた基盤作り



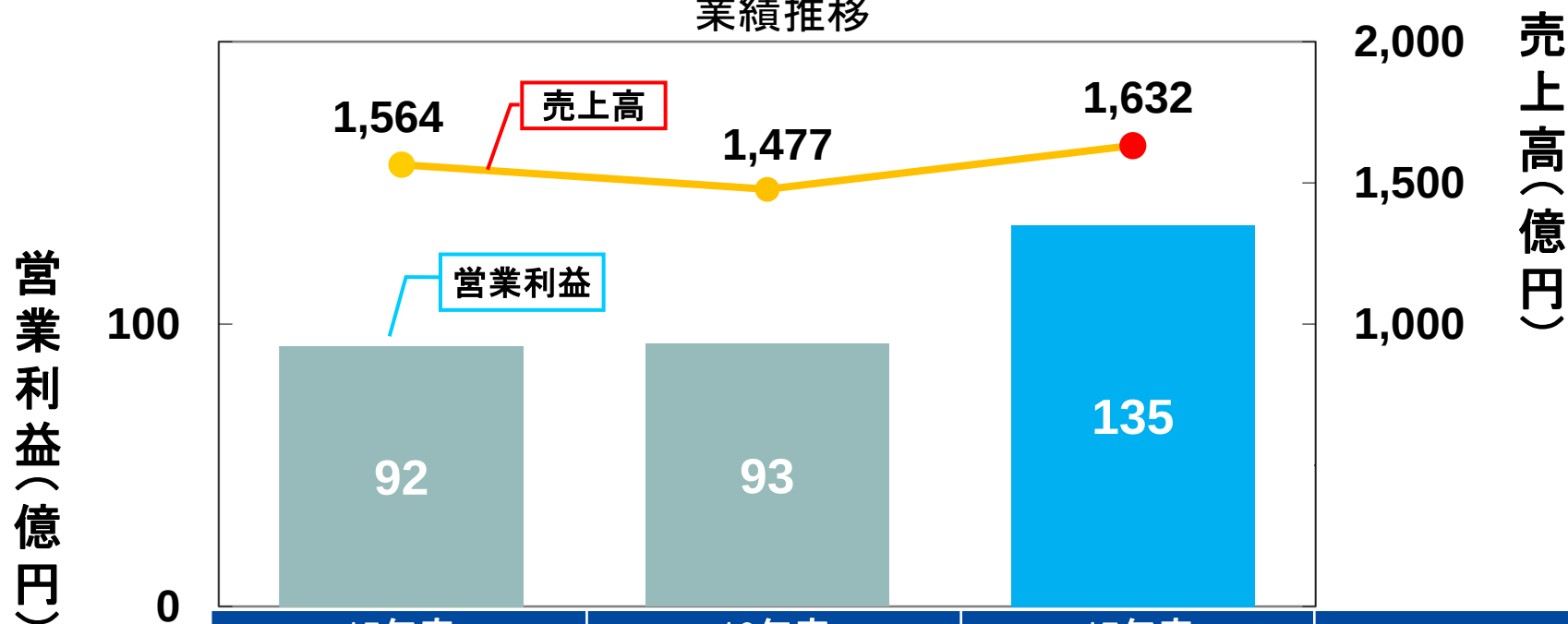
2017年度第2四半期決算について

1. 売上高は、為替換算影響はあったものの、得意先の増産影響等により増収

2. 営業利益は、得意先の増産影響等に加え合理化効果の積上げにより増益

2017年度第2四半期連結決算サマリー

業績推移



※ 売上高は、円高による為替換算影響はあったものの、得意先の増産影響等により、155億円増収

※ 営業利益は、売上増の影響および合理化効果等により、42億円増益

製品群別連結売上構成

(億円)

	2016年度第2四半期		2017年度第2四半期		売上高 増減額	構成比 増減
	売上高	構成比	売上高	構成比		
車体プレス製品	1,259	85.2%	1,375	84.3%	+116	-0.9%
トランスミッション製品	189	12.8%	229	14.0%	+40	+1.2%
樹脂製品	20	1.4%	19	1.2%	-1	-0.2%
その他	9	0.6%	9	0.5%	0	-0.1%
合計	1,477	100%	1,632	100%	+155	—

※ 構成比に大きな変化は無し

得意先別連結売上構成

(億円)

	2016年度第2四半期		2017年度第2四半期		構成比 増減
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日産自動車関連 小計	1,258	85.2%	1,371	84.0%	-1.2%
日産自動車	220	14.9%	254	15.6%	+0.7%
東風汽車	214	14.5%	246	15.1%	+0.6%
北米日産	210	14.2%	201	12.3%	-1.9%
ジャトコ(海外拠点含む)	161	10.9%	196	12.0%	+1.1%
メキシコ日産自動車	178	12.0%	192	11.8%	-0.2%
欧州日産自動車	123	8.3%	126	7.7%	-0.6%
日産車体	59	4.0%	71	4.4%	+0.4%
カルソニックカンセイ(海外拠点含む)	56	3.8%	55	3.4%	-0.4%
ルノー日産インディア	16	1.1%	15	0.9%	-0.2%
タイ日産自動車	13	0.9%	10	0.6%	-0.3%
鄭州日産	4	0.3%	4	0.2%	-0.1%
インドネシア日産	4	0.3%	1	0.0%	-0.3%

※ 他社拡販により、構成比は合計1.2%減少



得意先別連結売上構成

		2016年度第2四半期		2017年度第2四半期		構成比 増減	(億円)
		売上高	構成比	売上高	構成比		
日産自動車関連以外の得意先 小計		219	14.8%	261	16.0%	+1.2%	
内)ホンダ	米国ホンダ	41.5	2.8%	34.8	2.1%	-0.7%	
	英国ホンダ	7.3	0.5%	23.7	1.5%	+1.0%	
	本田技研工業	14.8	1.0%	20.3	1.2%	+0.2%	
	メキシコホンダ	14.6	1.0%	16.5	1.0%	0.0%	
	インドネシアホンダ	12.8	0.9%	11.8	0.7%	-0.2%	
ルノー	ルノー	26.1	1.8%	30.6	1.9%	+0.1%	
	東風ルノー	7.5	0.5%	20.5	1.3%	+0.8%	
	ルノーインドシア	-	-	1.0	0.0%	0.0%	
マツダ	マツダ	14.0	1.0%	12.1	0.7%	-0.3%	
	メキシコマツダ	7.0	0.5%	7.0	0.4%	-0.1%	
ダイナックス(海外拠点含む)		13.9	0.9%	15.1	0.9%	0.0%	
アイシンAW(海外拠点含む)		6.5	0.4%	5.8	0.4%	0.0%	
SUBARU		2.6	0.2%	5.7	0.3%	+0.1%	
トヨタ車体(海外拠点含む)		2.7	0.2%	2.4	0.1%	-0.1%	
UDトラックス		2.1	0.1%	2.1	0.1%	0.0%	
NSKワーナー		0.8	0.1%	1.8	0.1%	0.0%	
ダイハツ工業		1.2	0.1%	1.4	0.1%	0.0%	
豊田鉄工		0.3	0.0%	0.9	0.0%	0.0%	
いすゞ自動車		1.0	0.1%	0.8	0.0%	-0.1%	
日野自動車(海外拠点含む)		-	-	0.8	0.0%	0.0%	
三菱自動車工業		0.3	0.0%	0.5	0.0%	0.0%	
スズキ		0.5	0.0%	0.5	0.0%	0.0%	

※ ホンダグループおよびルノーへの拡販を中心に売上高が42億円増加し、構成比は1.2%増加

営業利益の増減要因

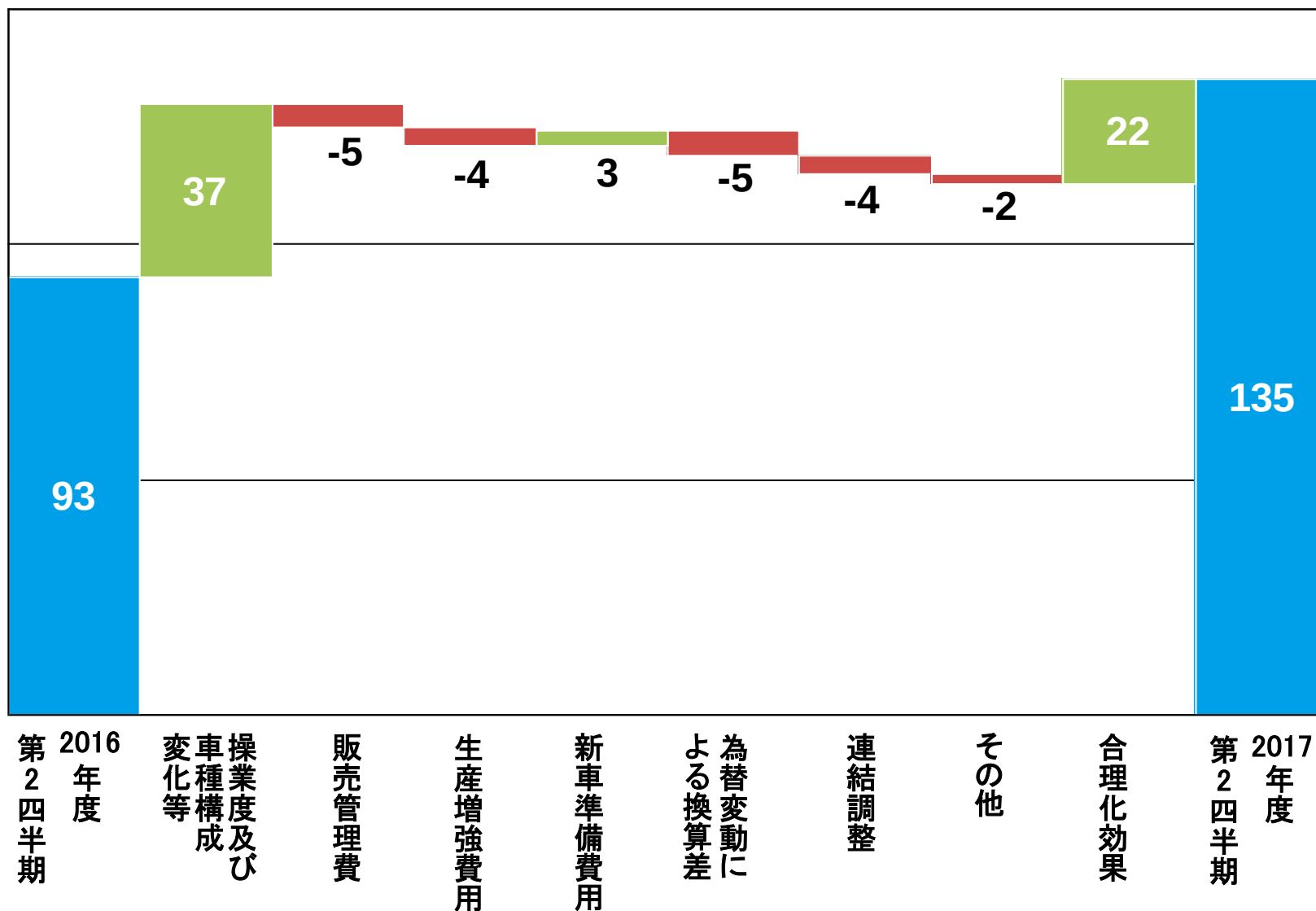
(億円)

150

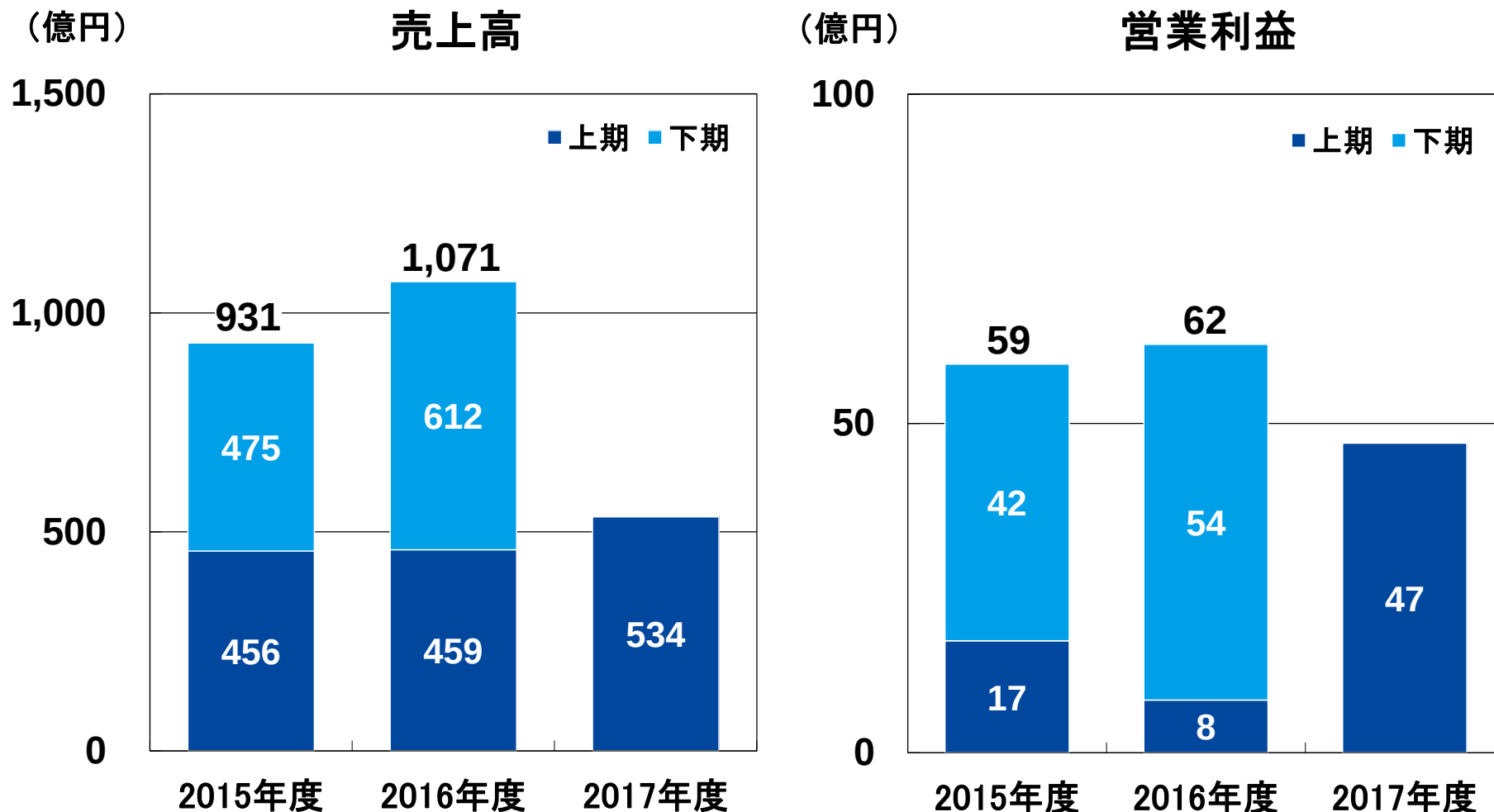
100

50

0



地域別売上高・営業利益(日本)



※ 売上高は、得意先の増産影響により、16.3%増収

※ 営業利益は、合理化効果等により、39億円増益

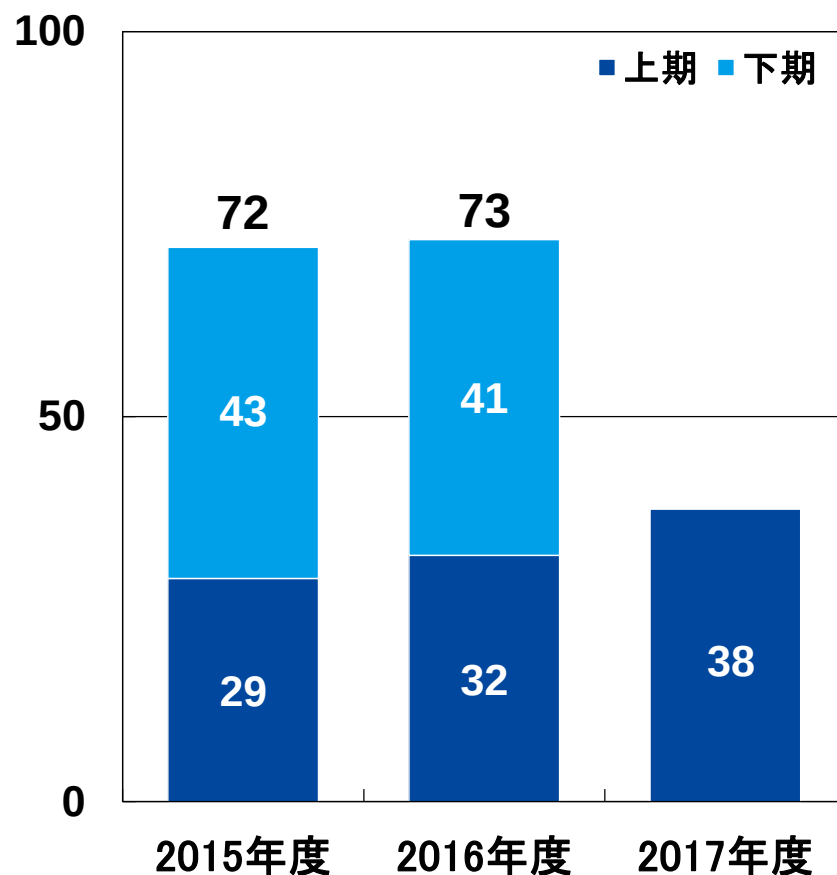
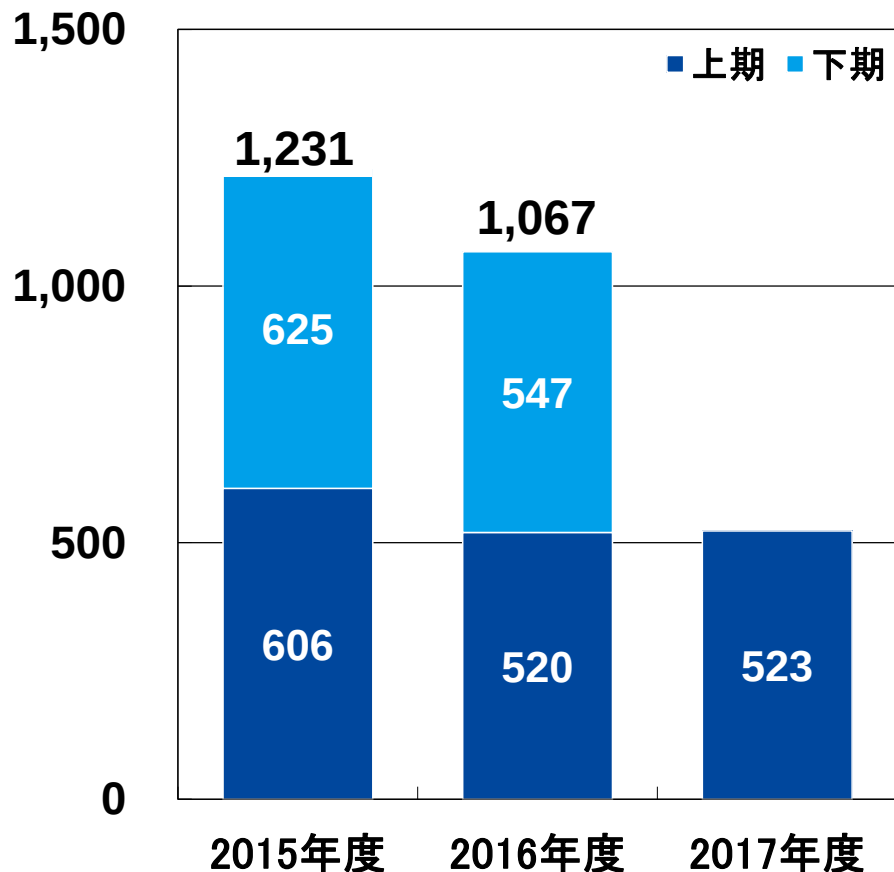
地域別売上高・営業利益(米州)

(億円)

売上高

(億円)

営業利益



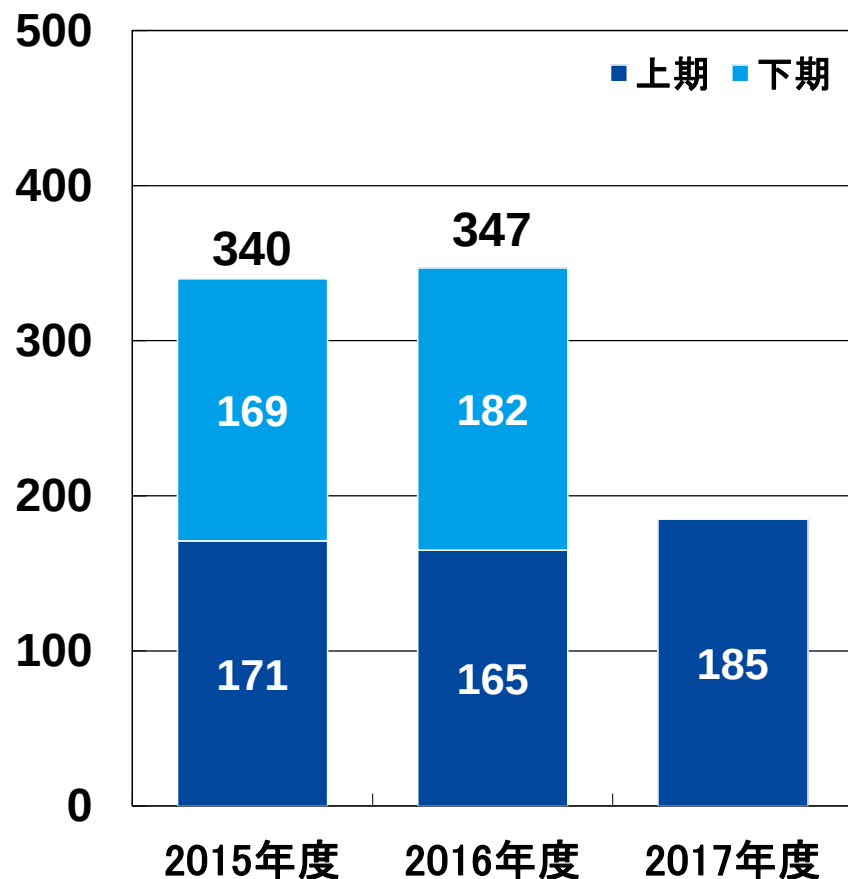
※ 売上高は、為替換算影響はあったものの、0.6%増収

※ 営業利益は、合理化効果等により、18.8%増益

地域別売上高・営業利益(欧州)

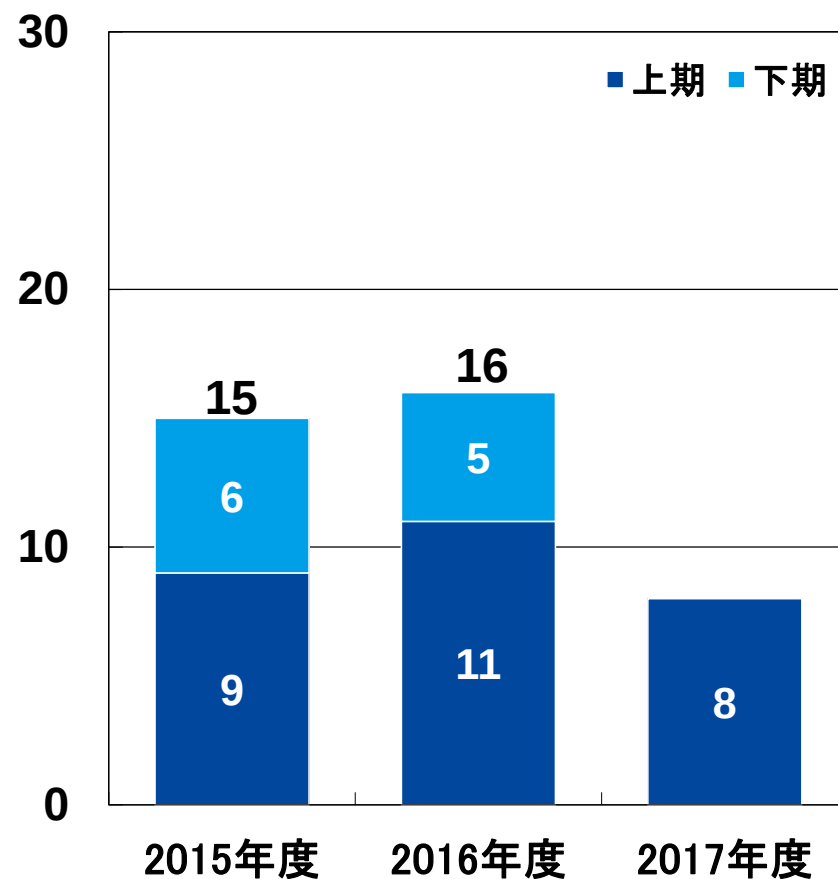
(億円)

売上高



(億円)

営業利益



※ 売上高は、得意先の増産影響等により、12.1%増収

※ 営業利益は、為替換算影響等により、3億円減益

地域別売上高・営業利益(アジア)

(億円)

売上高

(億円)

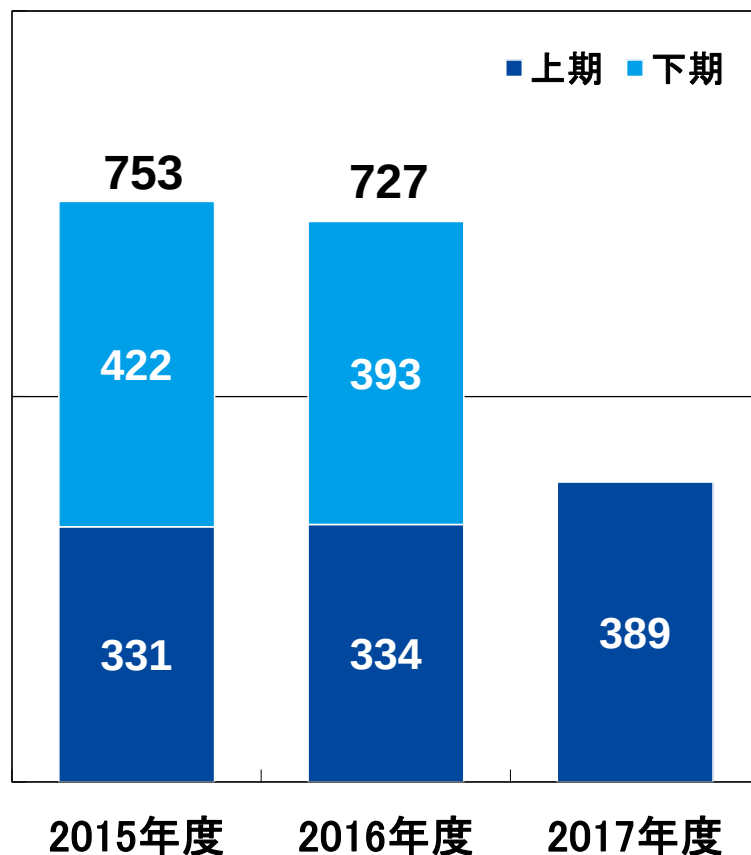
営業利益

1,000

500

0

■ 上期 ■ 下期

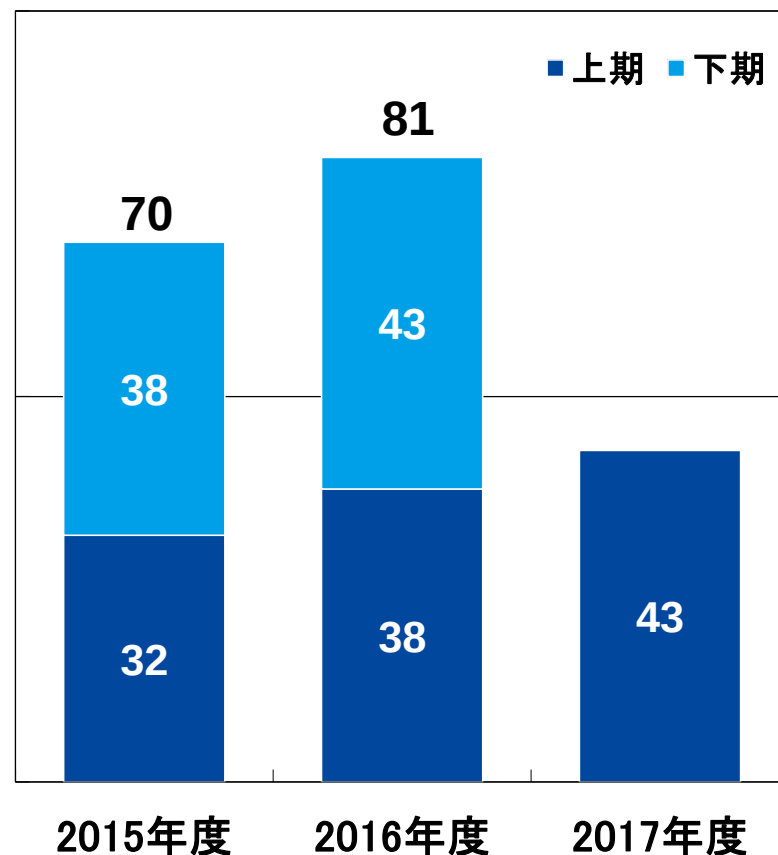


100

50

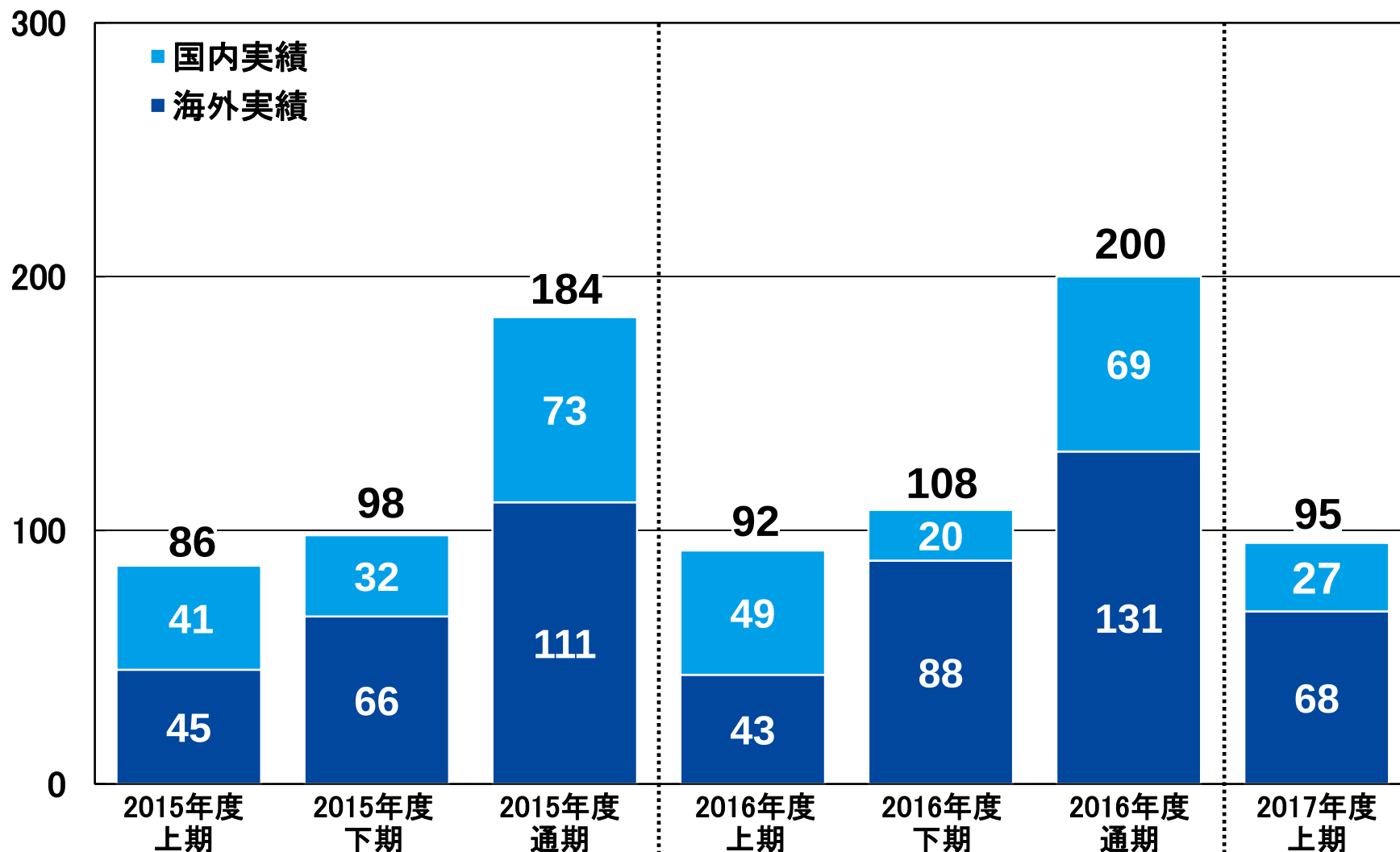
0

■ 上期 ■ 下期



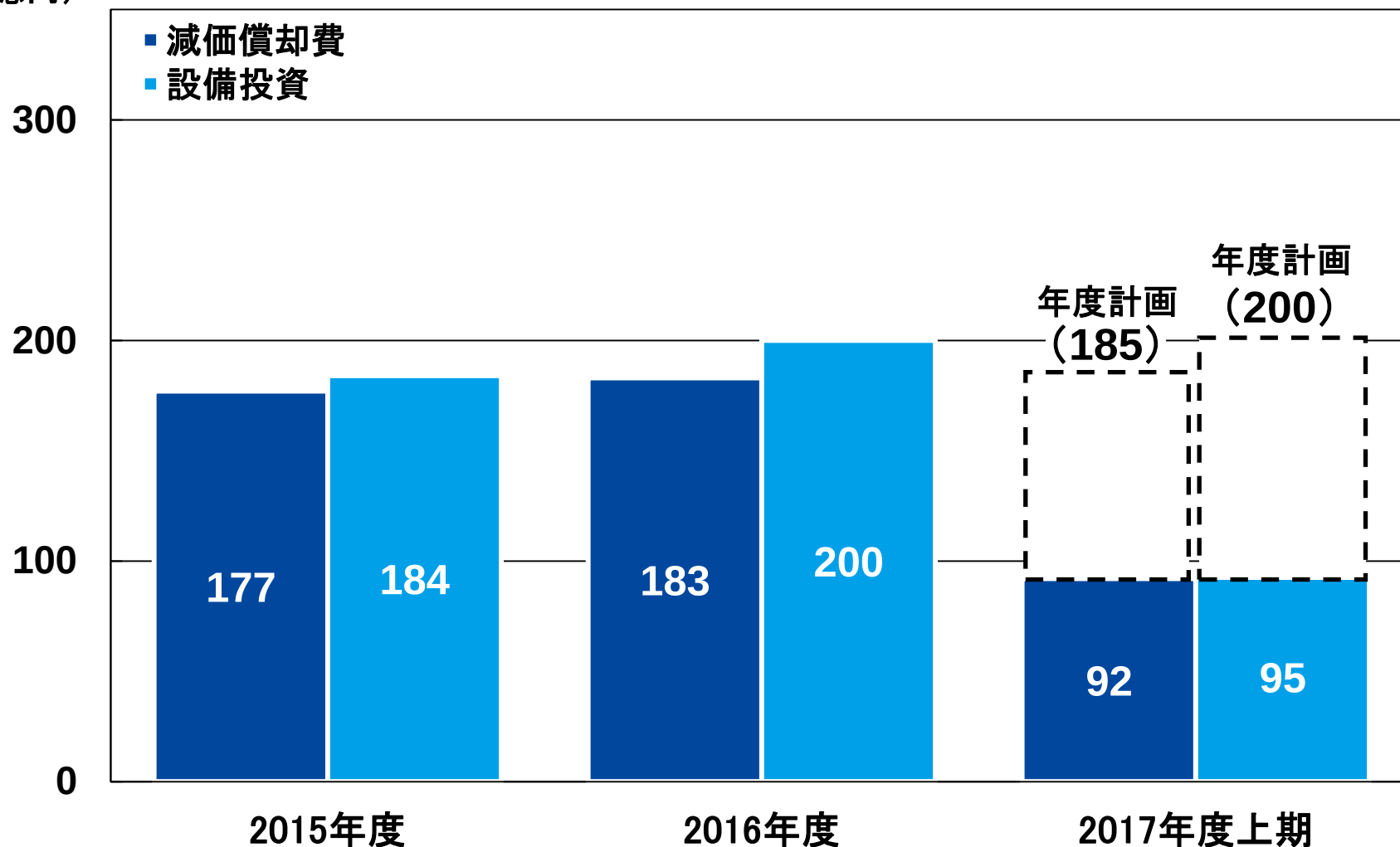
※ 売上高は、為替換算影響はあったものの、得意先の増産影響等により、16.5%増収
 ※ 営業利益は、13.2%増益

(億円)



設備投資・減価償却費推移

(億円)

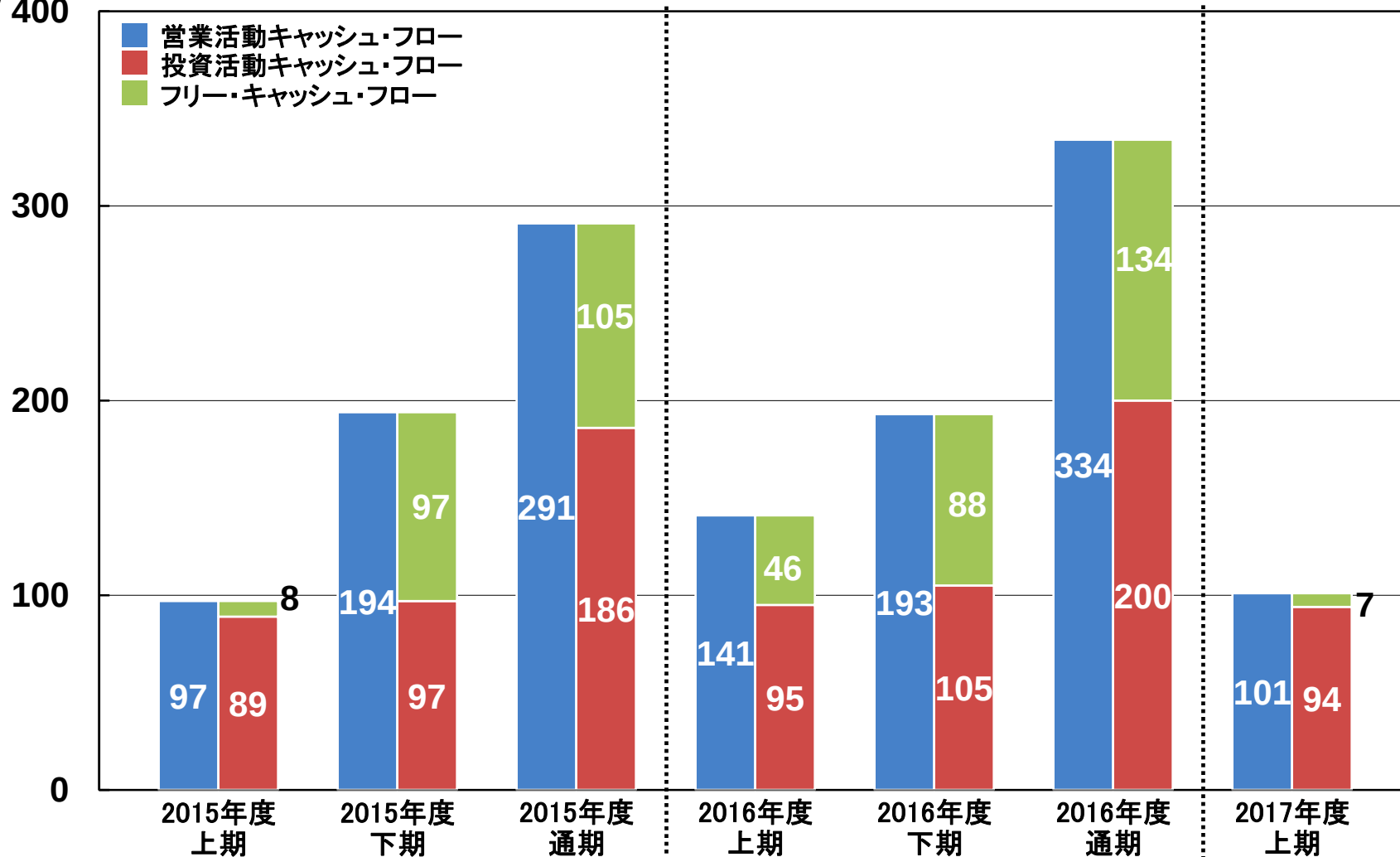


※ 減価償却費・設備投資ともに、ほぼ計画通り



キャッシュ・フロー

(億円)

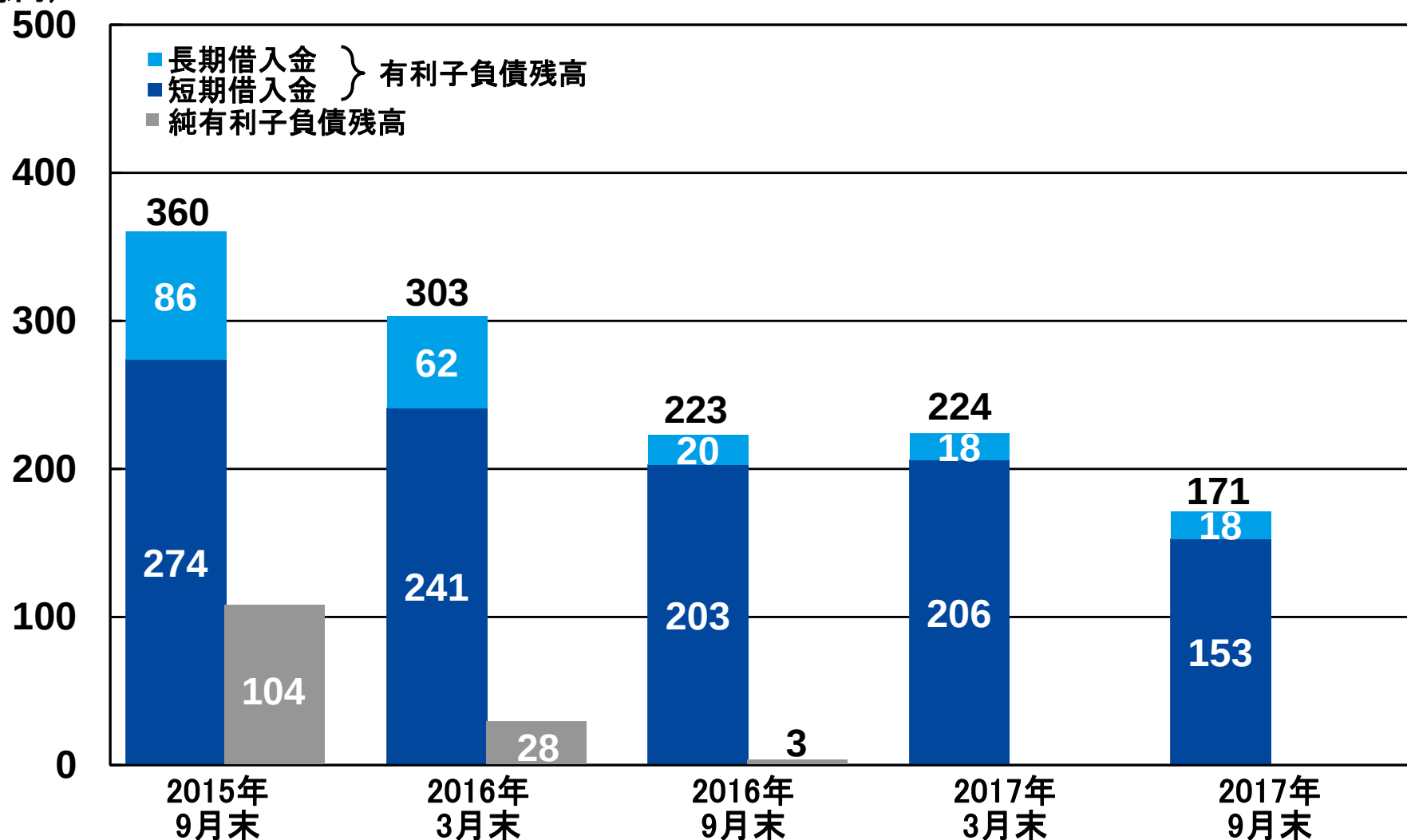


※ 7億円のフリー・キャッシュ・フローを確保



有利子負債・純有利子負債残高の推移

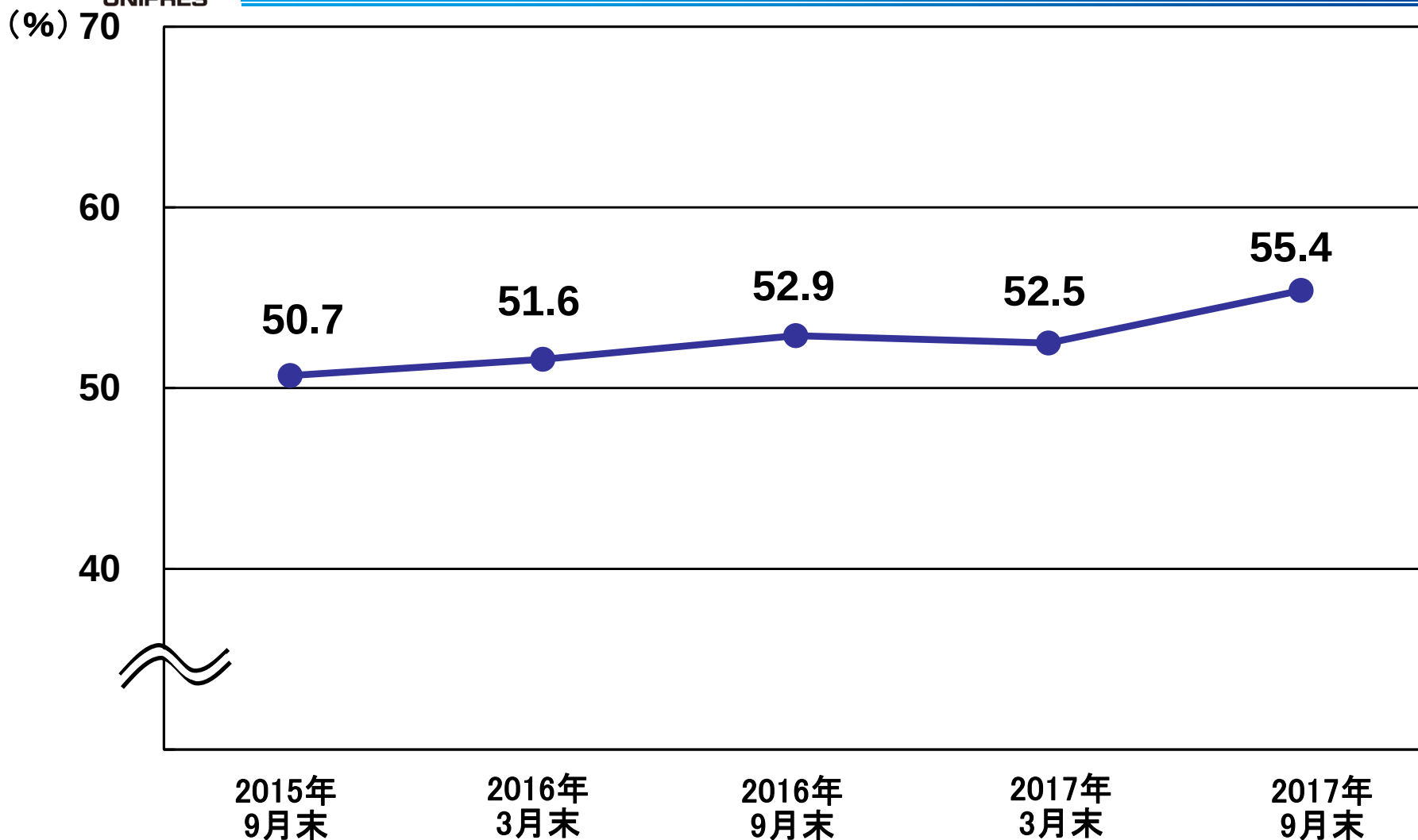
(億円) UNIPRES



※ 有利子負債は、53億円減少



自己資本比率の推移



※ 前年度末に対し、+2.9%の55.4%



2017年度見通しについて

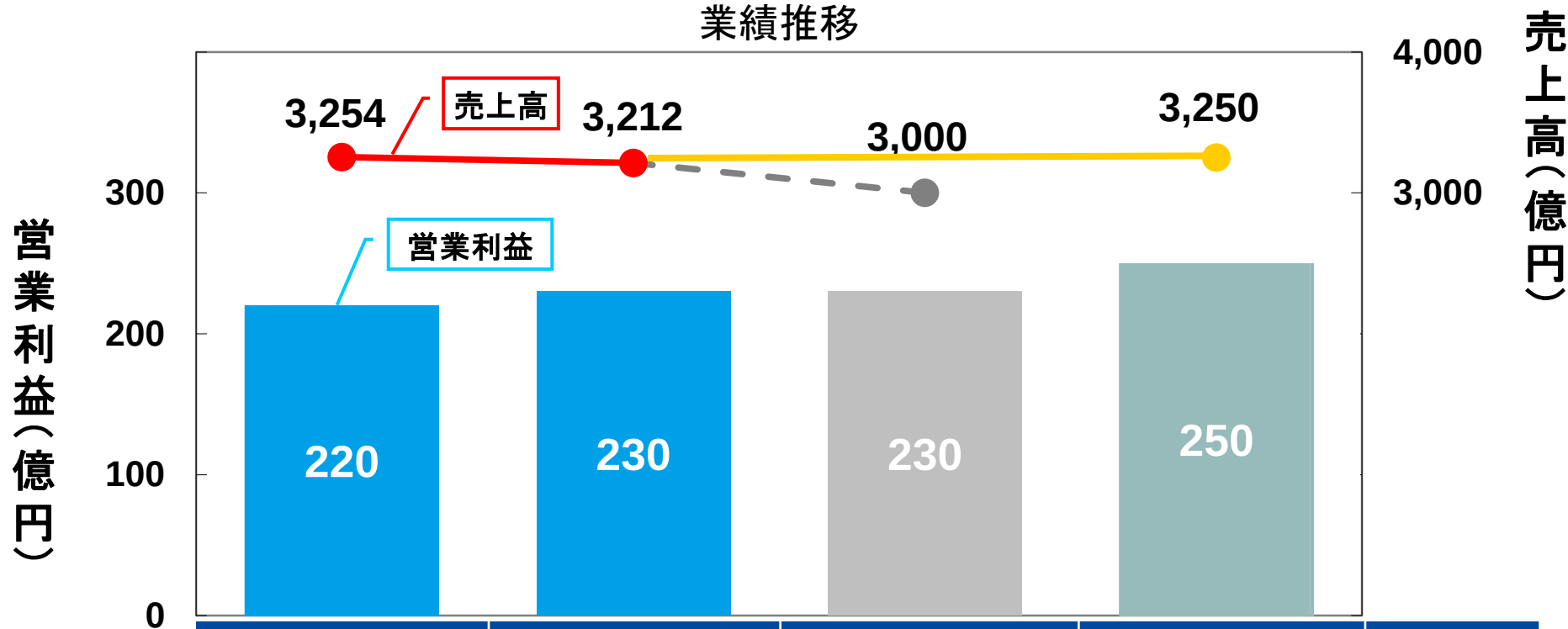
1. 売上高は、為替換算影響等により微増

2. 営業利益は、合理化効果等により増益

3. 海外の生産基盤強化を中心に設備投資を計画

2017年度連結業績計画サマリー

業績推移



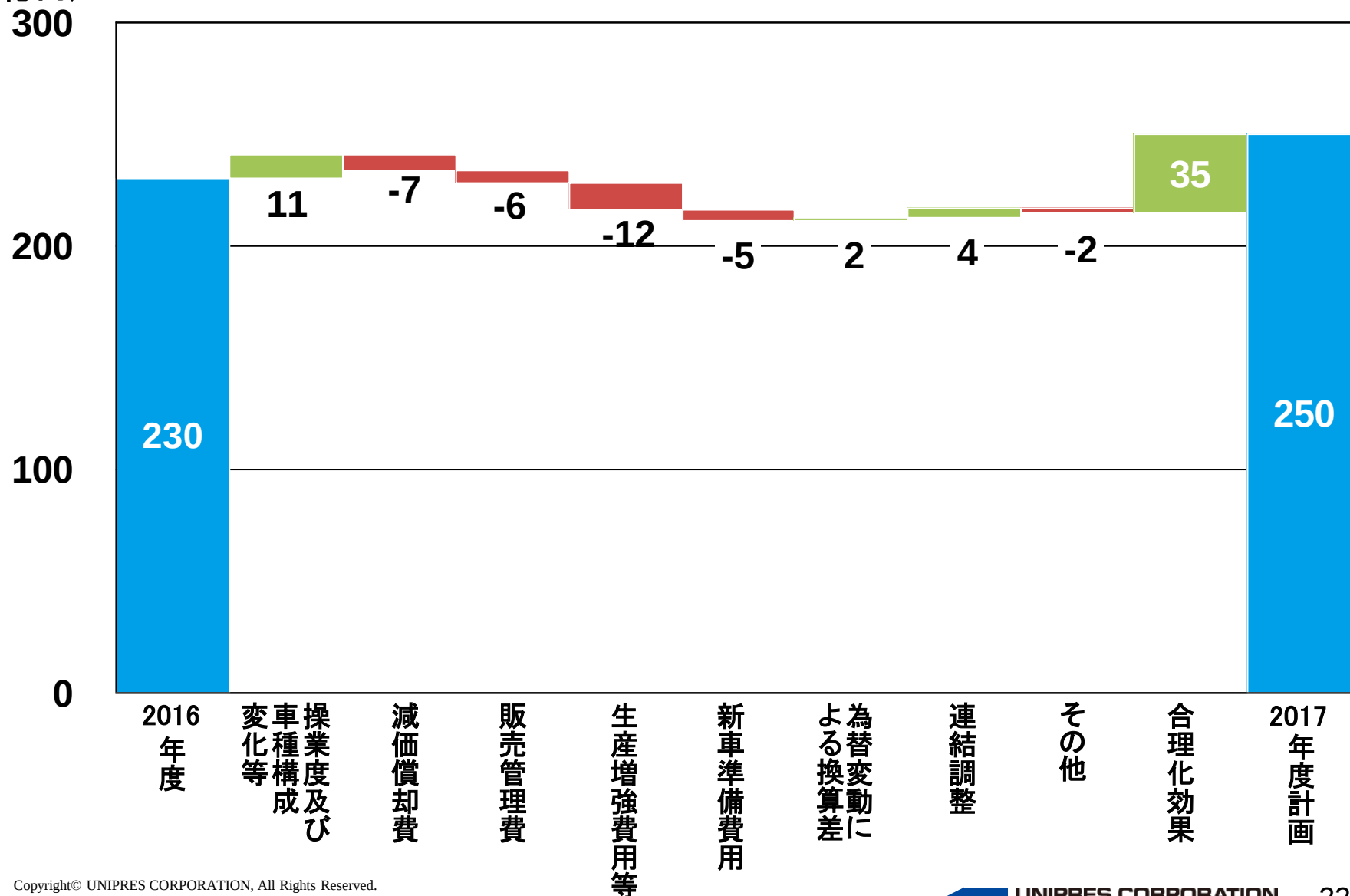
	15年度	16年度(A)	17年度当初計画	17年度(B)	(B)-(A)
売上高	3,254	3,212	3,000	3,250	+38
営業利益	220	230	230	250	+20
経常利益	182	230	225	255	+25
親会社株主に帰属する当期純利益	98	144	140	155	+11

※ 売上高は微増、営業利益は合理化効果等により増益を計画

※ 当初計画対比では、生産台数増により増収増益へ修正

営業利益の増減見通し

(億円)



地域別売上高・営業利益(日本)

(億円)

売上高

(億円)

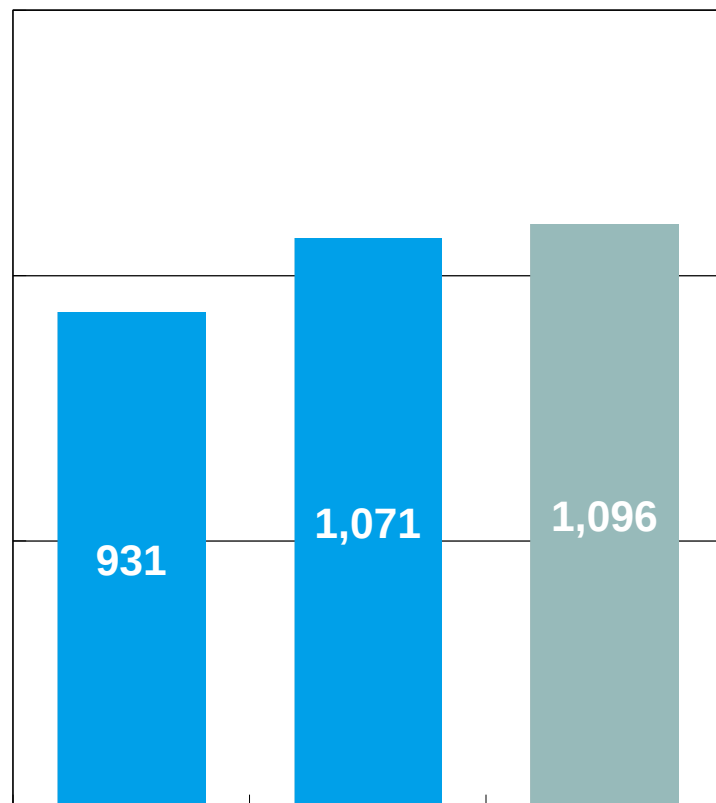
営業利益

1,500

1,000

500

0



2015年度

2016年度

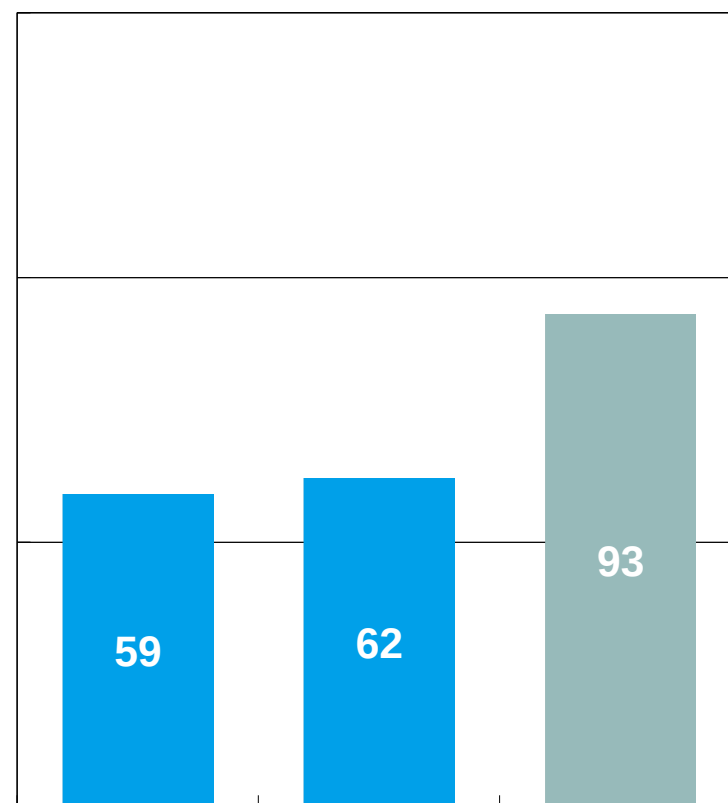
2017年度
計画(修正後)

150

100

50

0



2015年度

2016年度

2017年度
計画(修正後)

※ 売上高は、得意先の増産影響等により、増収を計画

※ 営業利益は、合理化効果等により増益を計画

地域別売上高・営業利益(米州)

(億円)

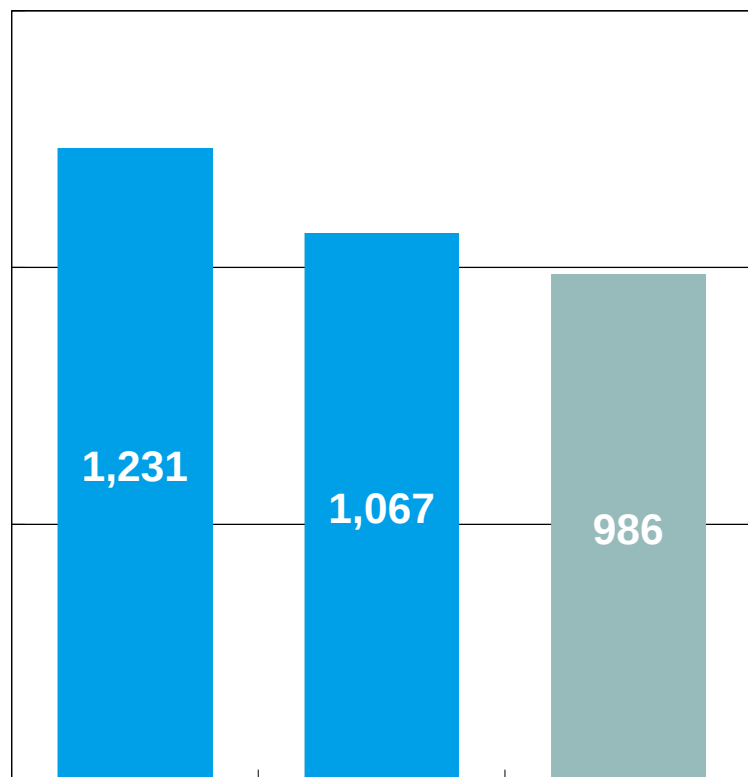
売上高

1,500

1,000

500

0



2015年度

2016年度

2017年度
計画(修正後)

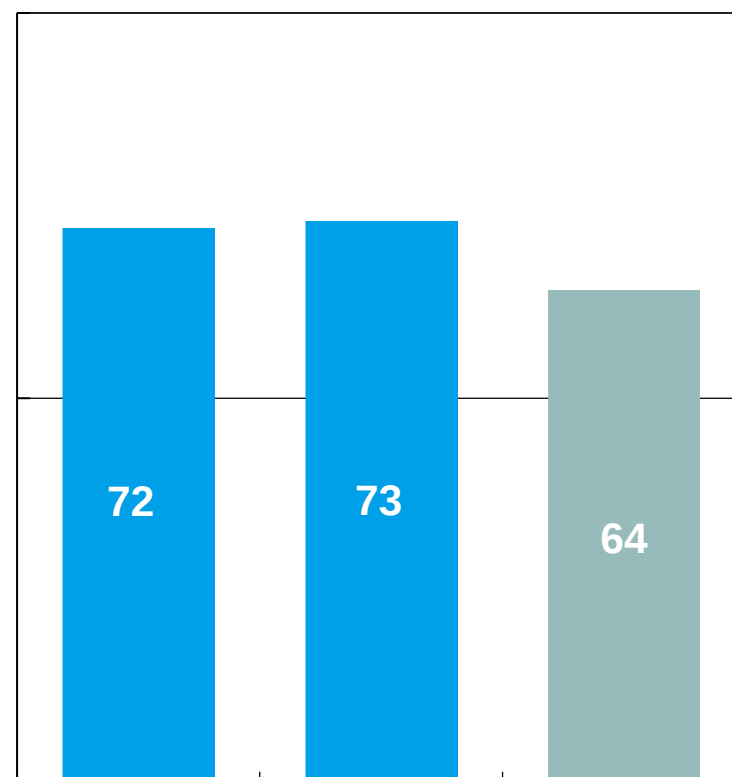
(億円)

営業利益

100

50

0



2015年度

2016年度

2017年度
計画(修正後)

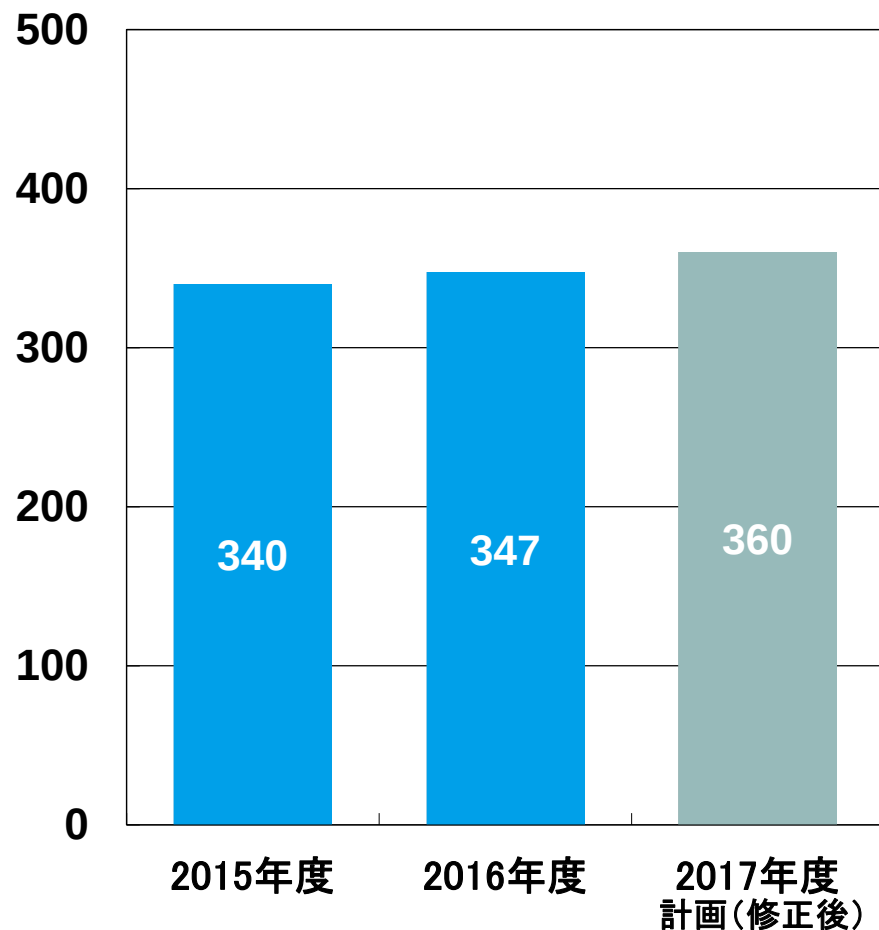
※ 売上高は、得意先の減産影響等により、減収を計画

※ 営業利益は、減益を計画

地域別売上高・営業利益(欧州)

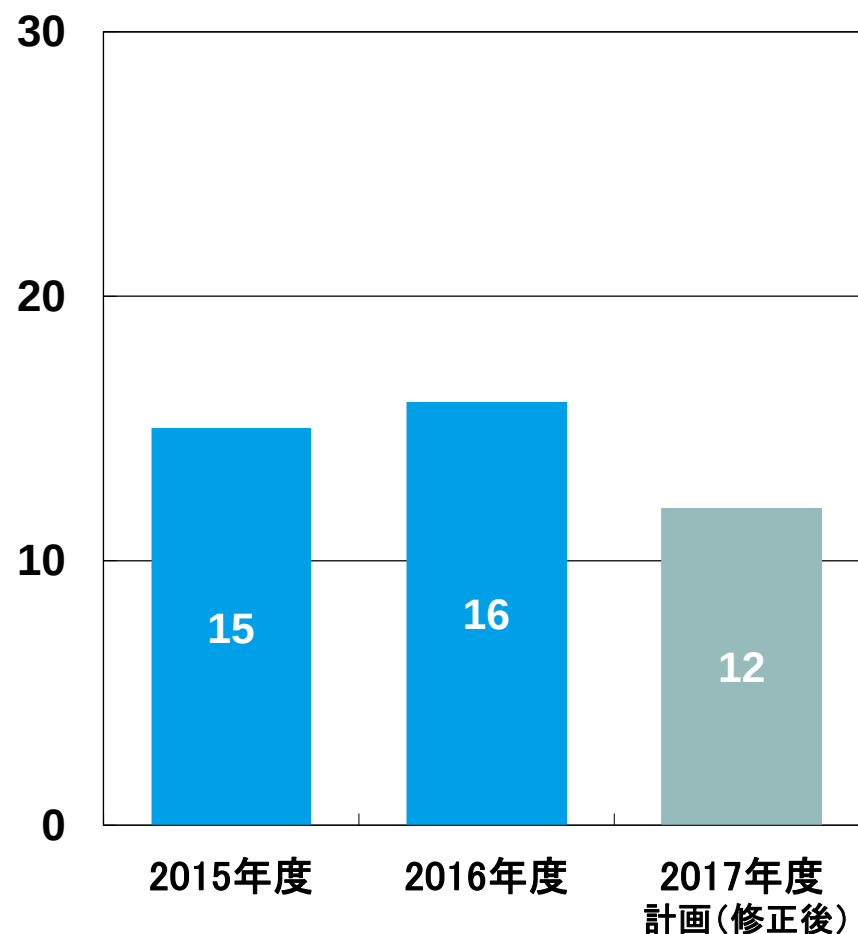
(億円)

売上高



(億円)

営業利益



※ 売上高は、微増を計画

※ 営業利益は、管理費用等の増加を見込み、減益を計画

地域別売上高・営業利益(アジア)

(億円)

売上高

(億円)

営業利益

1,000

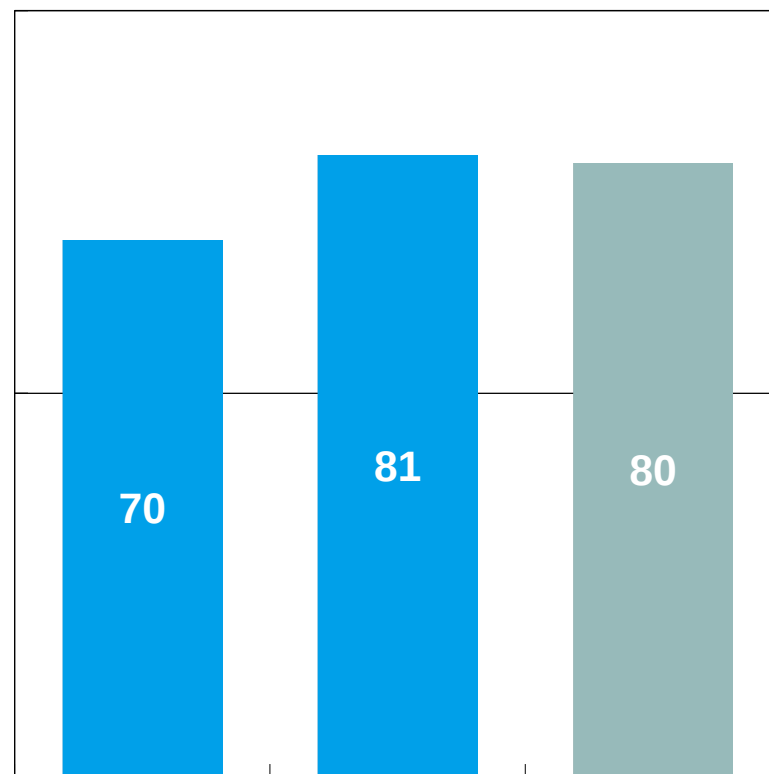
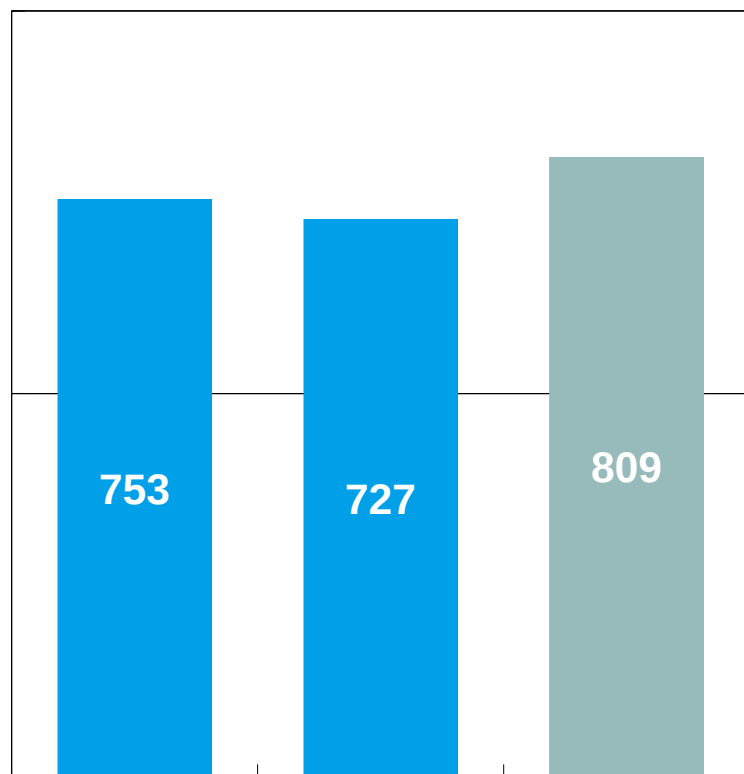
100

500

50

0

0



2015年度

2016年度

2017年度
計画(修正後)

2015年度

2016年度

2017年度
計画(修正後)

※ 売上高は、得意先の増産影響等により、増収を計画

※ 営業利益は、前年度並みを計画



将来に向けた基盤作り

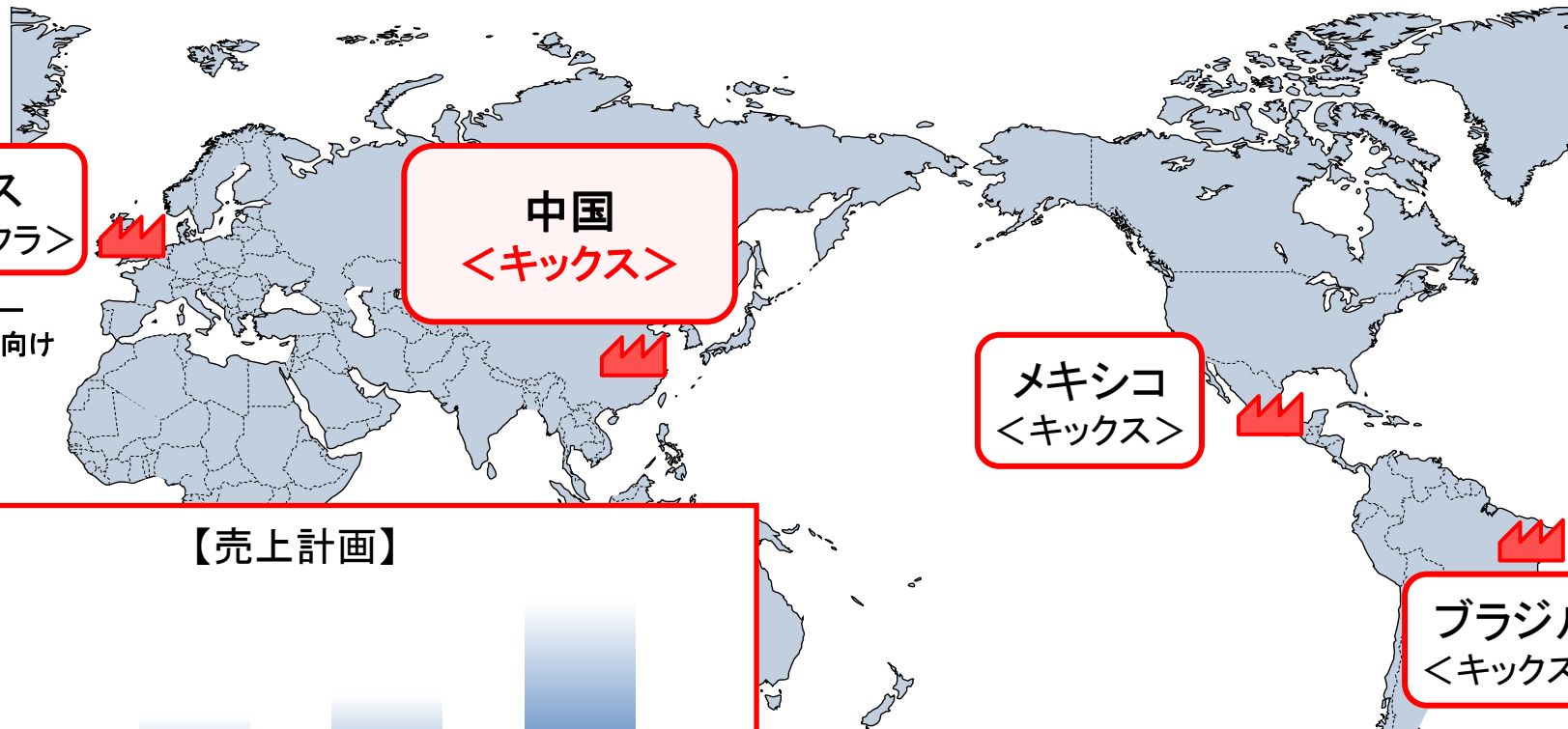


1. 拡販

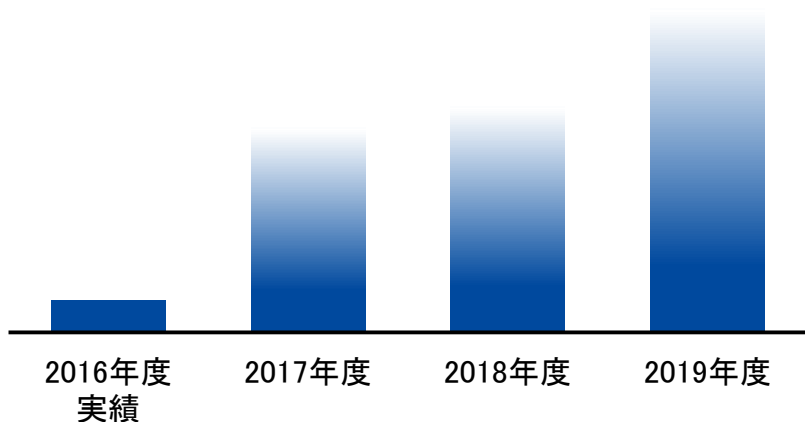
2016年度新車立上げ実績と今後の見通し

	2016	2017	2018	2019
日本	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★	★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★ ★
米州	★	★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★
欧州	★ ★	—	—	★
アジア (中国・タイ・ インド・ インドネシア)	★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★
計	15	13	15	16

- ・ 2017年度はグローバルで13車種の新車立上げを計画



【売上計画】



マイクラ



キックス

- ・ グローバル車種「キックス」を2017年5月から中国でも生産

日産 EV車リーフ 受注状況



日産 新型リーフ

- 2017年度より新型リーフ向け部品を日本・北米・欧州にて生産
- 旧型リーフ同様、車体骨格のほぼ全量・バッテリーケース・樹脂アンダーカバーを受注

<受注部品>

骨格部品のほぼ全量

EV専用部品
バッテリーケース

樹脂アンダーカバー

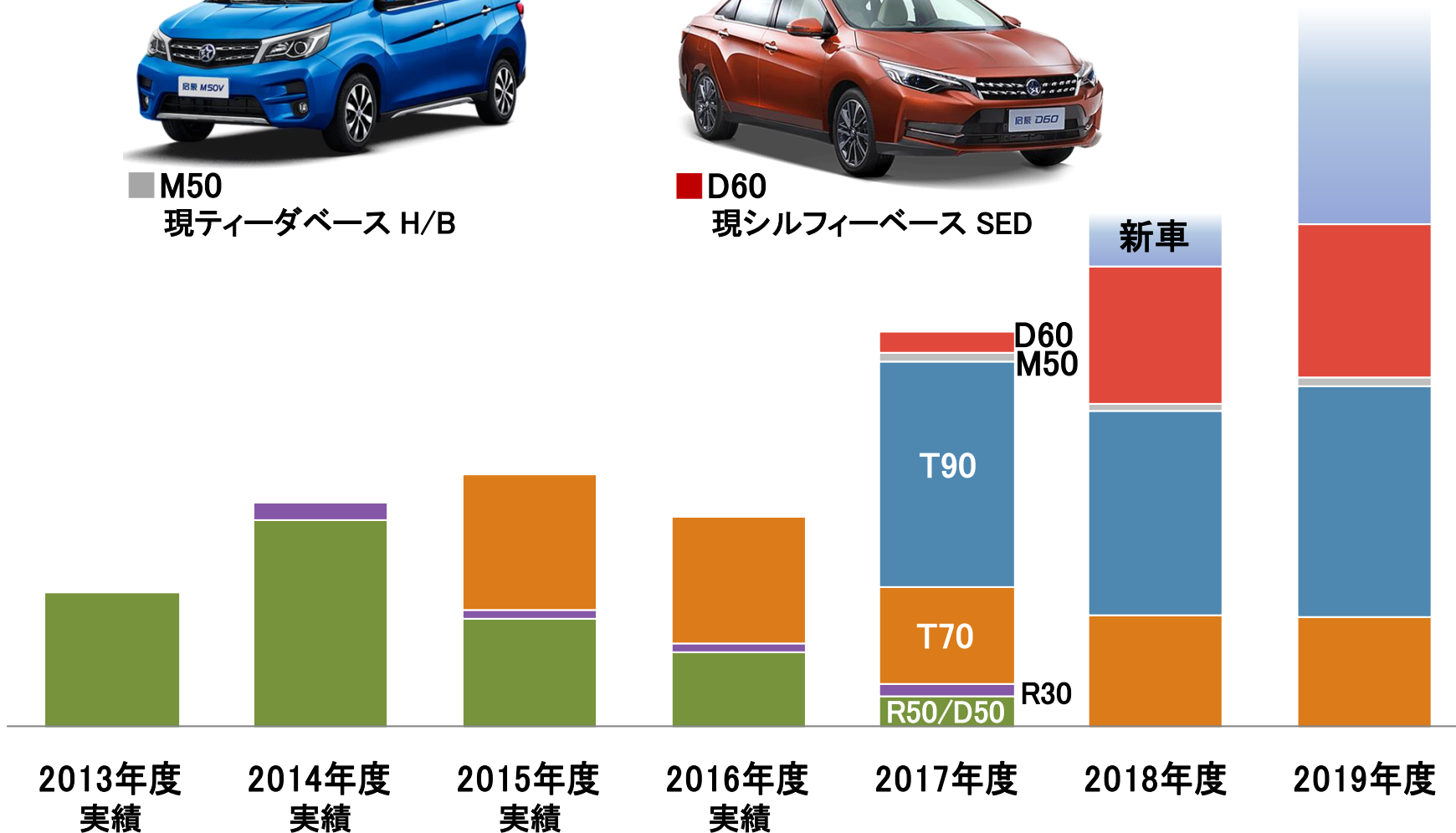
ヴェヌーシアブランド受注状況



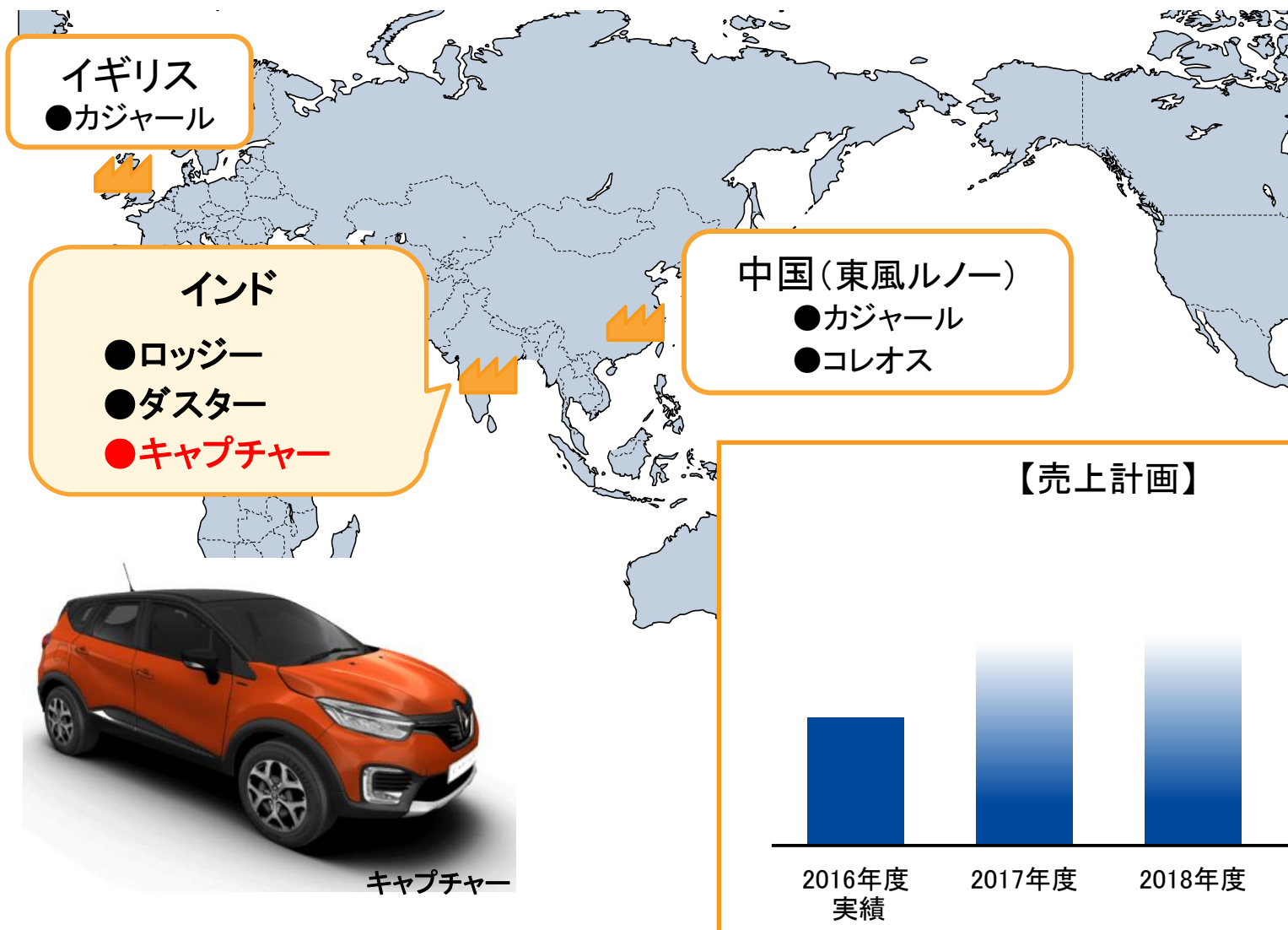
M50
現ティーダベース H/B



D60
現シルフィーベース SED



・ ヴェヌーシアブランド車の拡販を強化した結果、2017年度より大幅な売上増を計画



・ 2017年9月から「キャプチャー」をインドで生産開始

インドネシア 得意先別売上見通し



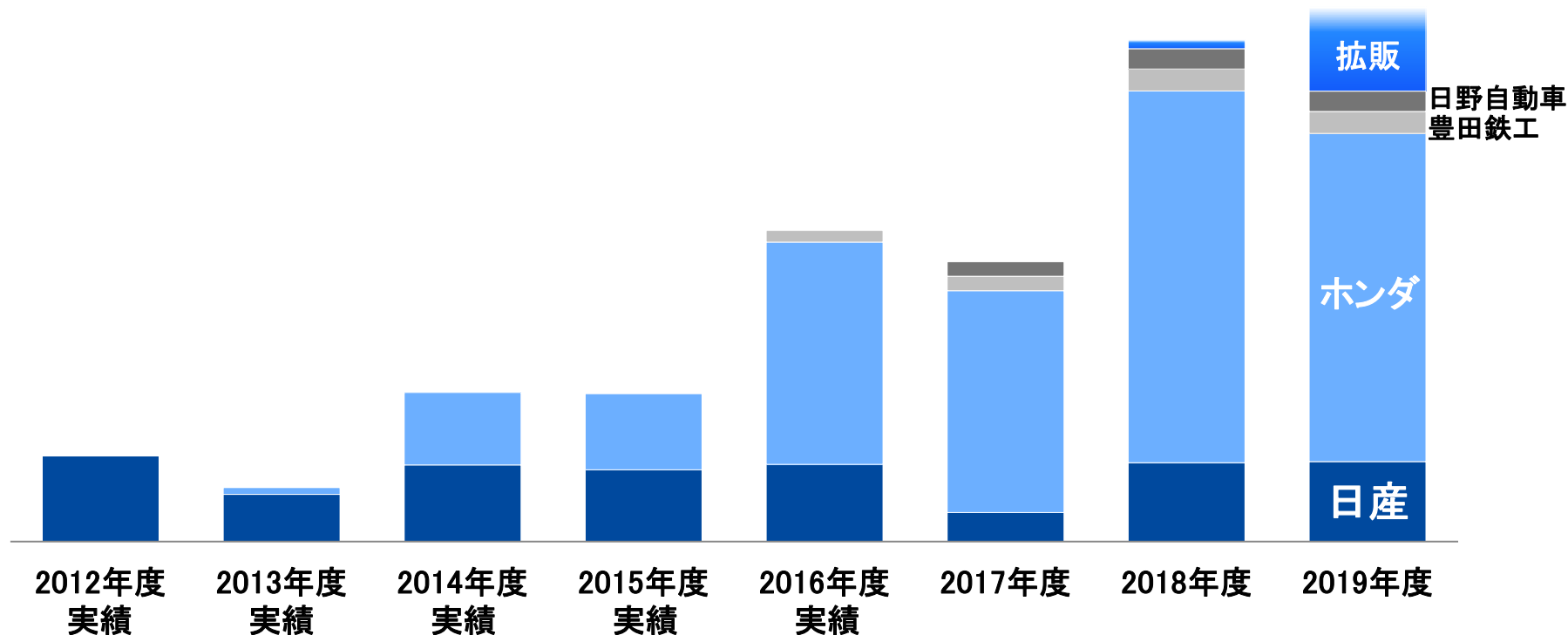
トヨタ「イノーバ」



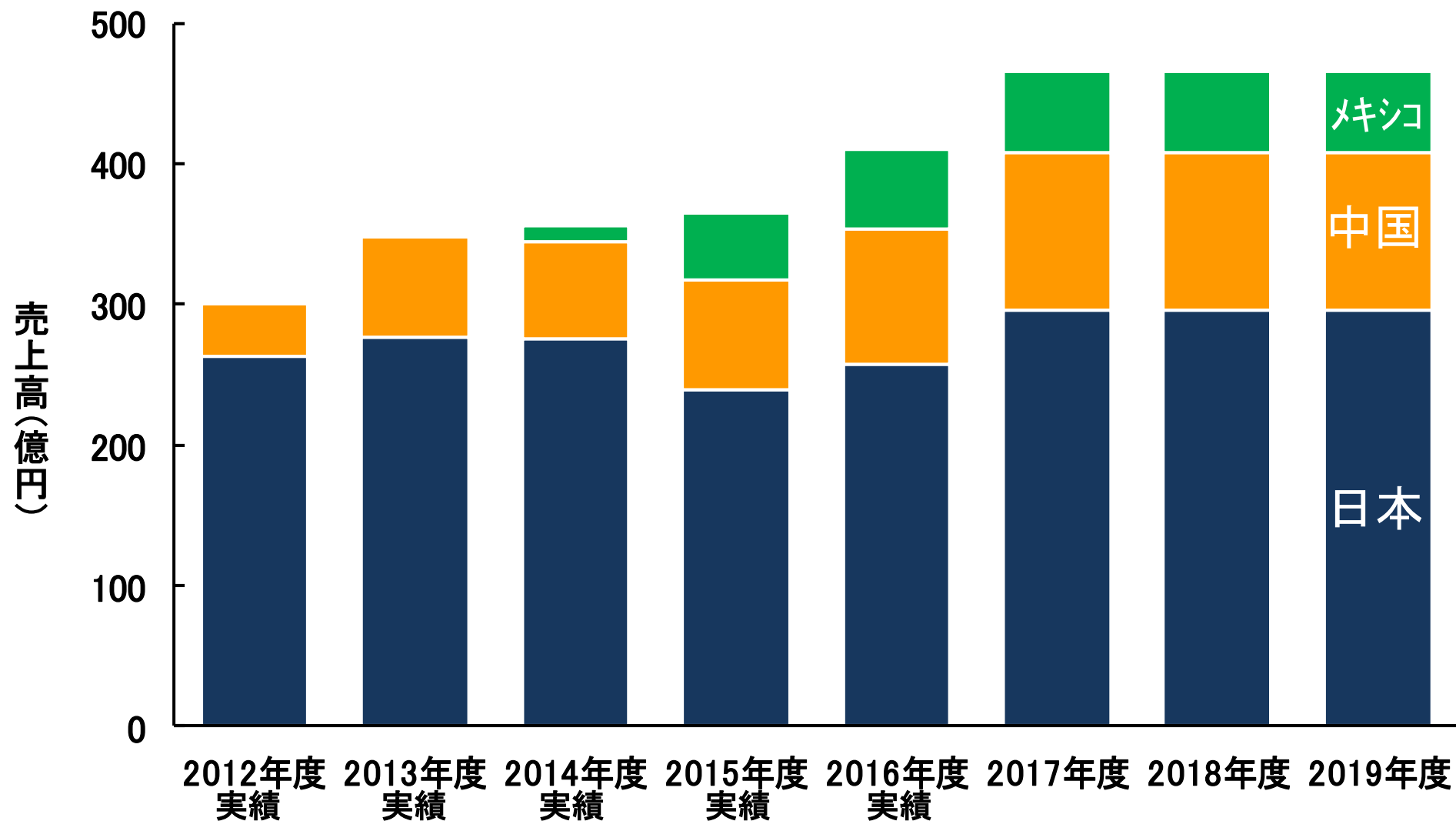
トヨタ「フォーチュナー」



日野自動車「レンジャー」



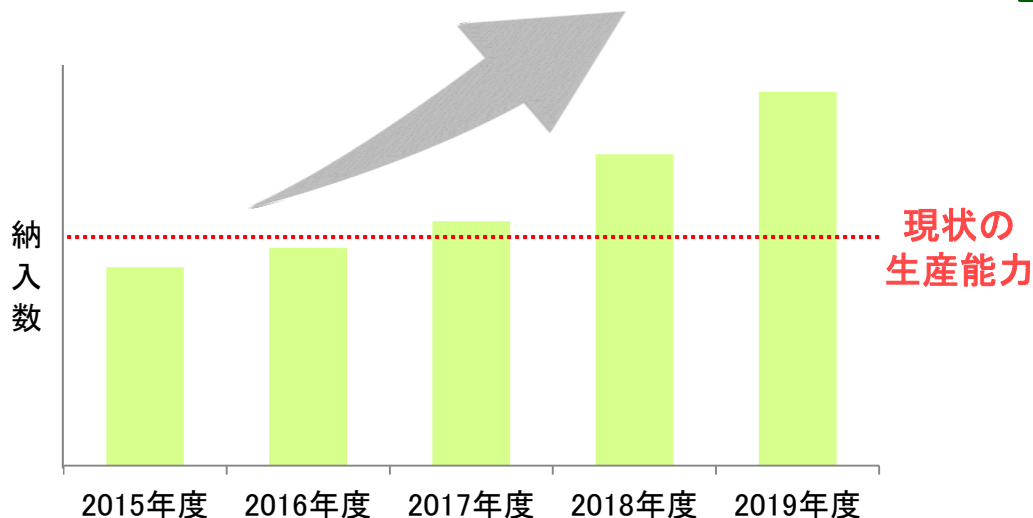
・ 積極的な拡販活動により豊田鉄工・日野自動車から新規受注



・グローバル展開や他社拡販により、売上拡大を図る

ジヤトコ広州向け
既存機種が生産台数増加

プレス設備を追加導入



今後の拡販(高精度・高剛性・高ハイテン化部品)と薄板からの板厚制御技術による低コストに対応するため、2000トントランスファープレス機を導入

既存トランスファープレス	
1200トン	1台
800トン	1台

+

新規トランスファープレス

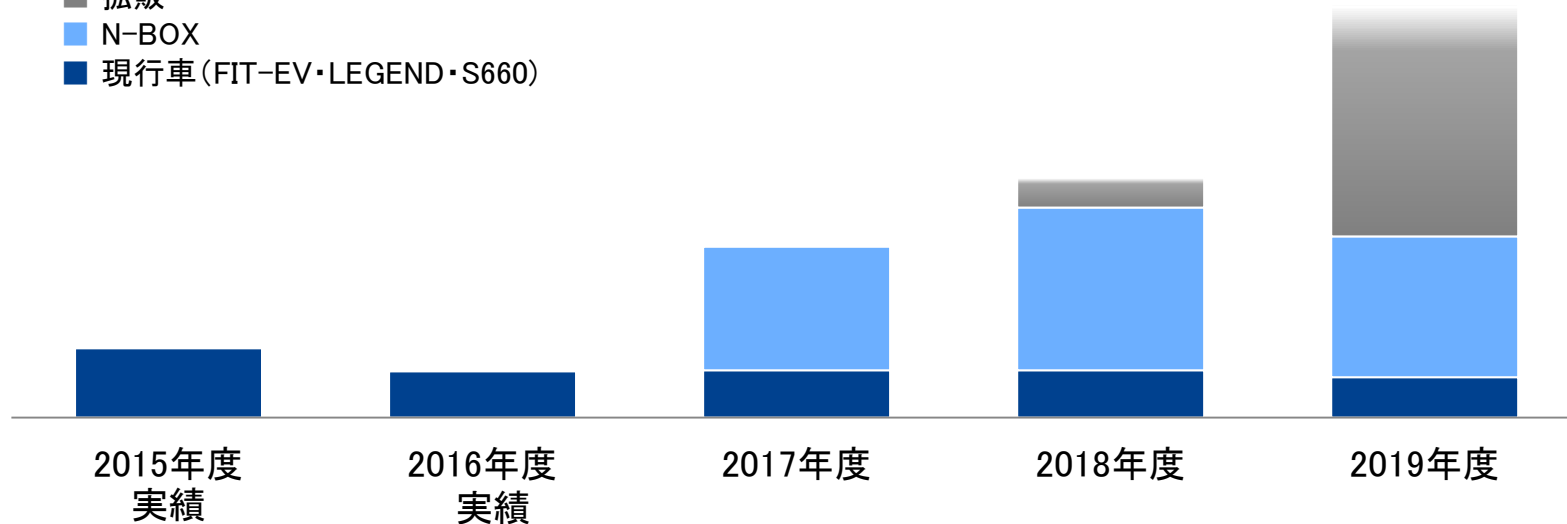
2000トン 1台

時期

2017年5月

<売上計画>

- 拡販
- N-BOX
- 現行車 (FIT-EV・LEGEND・S660)

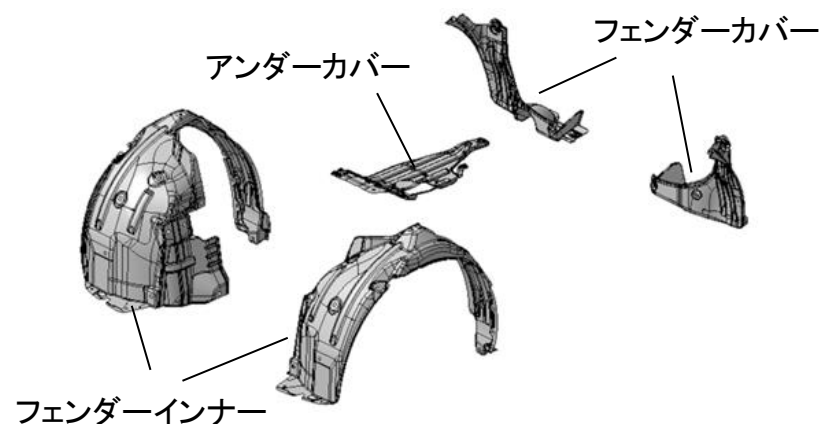


●新規受注車種



N-BOX

●受注部位



【技術的特長】

設計技術・設備技術・金型技術・成形技術の
組み合わせにより、フェンダーインナーの
薄板・深絞り形状の一体成形を実現

	ユニプレス (USS深絞り成形)	他社 (連続真空成形)
成形性	一体成形	スプラッシュガード 分割
薄板化	1.0t (一定)	1.2t + 1.7t (本体 + スプラッシュガード)

軽量化▲17%

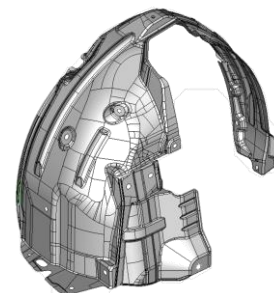
＜従来成形＞



スプラッシュガード

分割成形

＜深絞り成形＞



一体成形

・当社固有のUSS工法により板厚1.0t均一での一体成形により軽量化を実現

※USS工法・・・材料をシート状に伸ばし、連続してプレス成形する工法

●新規受注車種



エクリプス クロス

- ・三菱自動車からの新規受注
- ・2017年10月生産開始

●受注部位



- 発泡成形による吸音性・高剛性
※日産車で実績あり
- USS工法による薄板軽量化
(軽量化▲10%)
- ヒンジ形状による荷姿改善等の
低コスト化

・独自のプレス成形技術による軽量化とコスト競争力により今後も拡販を目指す



2. 技術開発

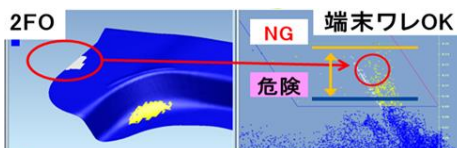
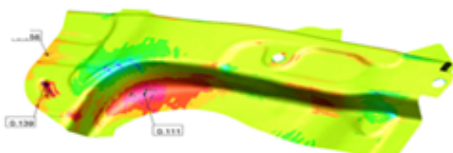
【設備投資の目的】

- ・難成形金型製作精度向上
- ・新車立ち上げリードタイム短縮とコスト削減

主な設備投資実施内容(2015年度～2016年度)

①成形解析システム増設

- ・フレ・シワ保証精度向上
- ・ハイト材スプリングバック低減



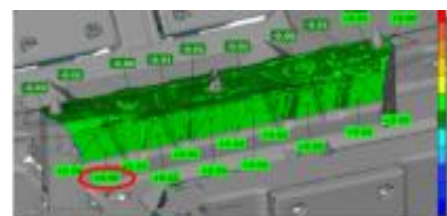
②最新鋭NC加工機増設

- ・金型形状加工精度向上
- ・金型製作能力向上



③金型精度測定器導入

デジタル測定による金型精度保証



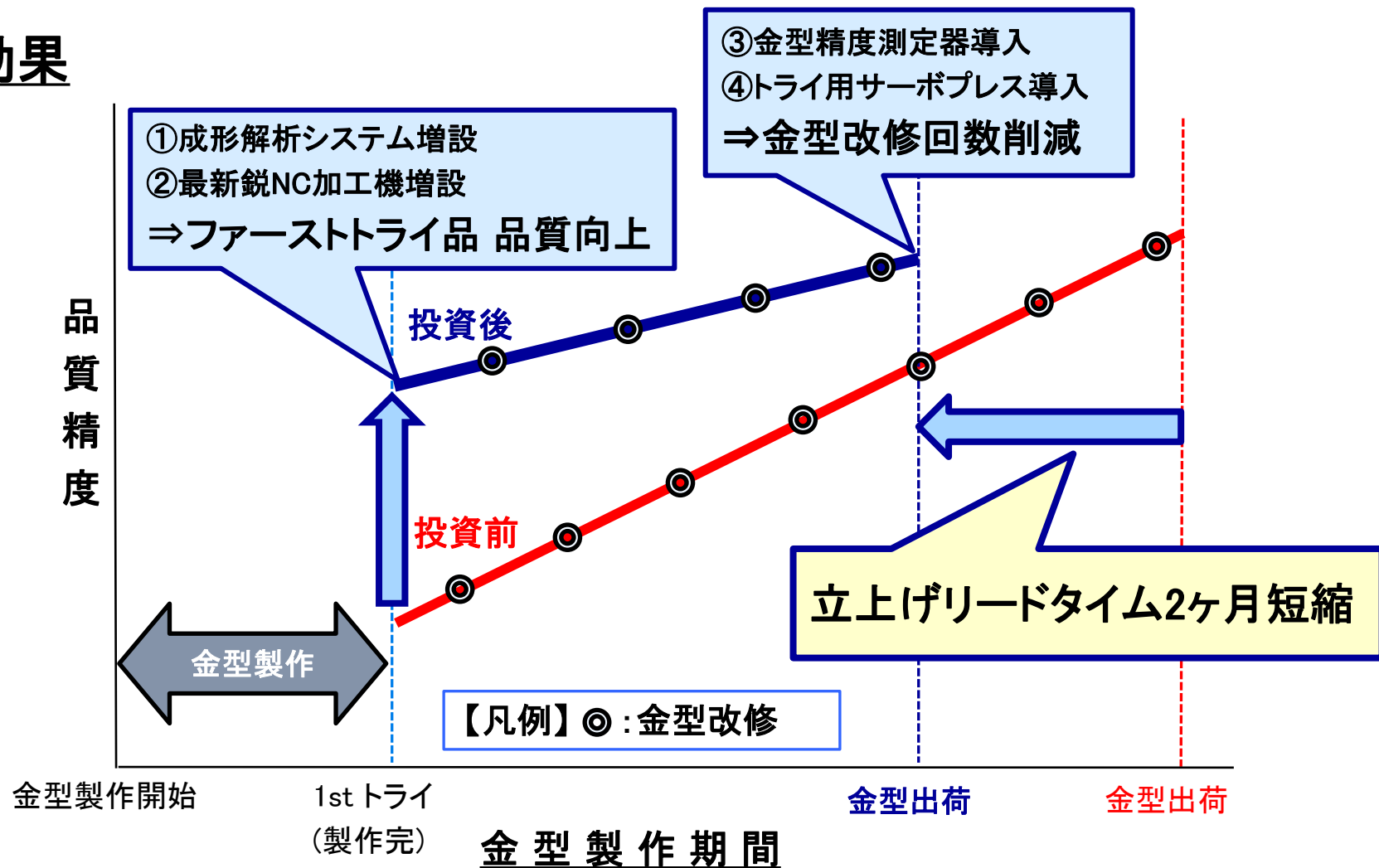
④トライ用サーボプレス導入

量産設備同条件でのトライ確認



工機工場の設備投資と効果②

■効果



- ・成形解析能力向上とトライ設備の充実により、新鋼材・新工法対応力を強化
- ・品質向上とリードタイム短縮により、立ち上げコスト削減・新車受注拡大に貢献

IT 技術の活用と IoT への取り組み

生産設備からのデータ収集、分析、活用にて**総合効率向上**

【本社・技術部門】

- ・溶接品質状態監視
- ・プレス設備状態監視



クラウド

欧州

中国

日本

北米

【生産部門】

生産管理
データ

品質管理
データ

設備管理
データ

FAネットワーク

組立設備

プレス設備

収集データ

内容

目的

ステータス

生産管理

【生産実績収集システム】

在庫保証、生産性向上

順次展開中

品質管理

【溶接品質監視とトレーサビリティシステム】

不良流出防止、1打点毎品質保証

2017年度より順次展開

設備管理

【プレス設備状態監視システム】

予兆保全、故障による大停止防止

2019年度より順次展開



UNIPRES

2017年7月に
「ユニプレス CSRレポート 2017」を
発行いたしました。

ユニプレス株式会社のウェブサイトに
掲載しておりますので是非ご覧ください。
<https://www.unipres.co.jp/csr/report>



	2016年度 上期		2017年度 上期		2017年度 計画前提	
	期中平均	期末	期中平均	期末	当初	下期
米ドル	105.40	101.12	111.30	112.74	110.00	(110.00)
英ポンド	158.95	138.42	142.29	145.82	133.00	(150.00)
ユーロ	124.25	114.36	122.18	127.95	117.00	(130.00)
ペソ	6.22	5.57	5.85	6.22	5.35	(6.25)
人民元	17.03	15.46	16.36	16.49	15.50	(16.50)
ルピー	1.58	1.52	1.73	1.72	1.65	(1.65)
バーツ	3.15	2.93	3.25	3.30	3.00	(3.35)
ルピア	0.0083	0.0078	0.0084	0.0084	0.0081	(0.0081)

資料取り扱い上の注意

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で当社が知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績はかかる予想と大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- ・ 主要市場（日本、米州、欧州、アジア等）の経済状況、消費動向、及び自動車業界得意先メーカー各社の業況・戦略等に伴う製品需給の急激な変動
- ・ 原油価格や鋼材価格の高騰に伴う当社製品製造コストへの影響
- ・ 為替相場の大幅な変動
- ・ 金融・資本市場における金利等の変動 など